

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第1区分
 【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公開番号】特開2005-264858(P2005-264858A)

【公開日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2005-038

【出願番号】特願2004-80339(P2004-80339)

【国際特許分類】

<i>F 0 2 N</i>	11/08	(2006.01)
<i>B 6 0 R</i>	25/00	(2006.01)
<i>B 6 0 R</i>	25/10	(2006.01)
<i>F 0 2 D</i>	29/02	(2006.01)

【F I】

<i>F 0 2 N</i>	11/08	U
<i>F 0 2 N</i>	11/08	L
<i>B 6 0 R</i>	25/00	6 0 6
<i>B 6 0 R</i>	25/10	6 0 1
<i>F 0 2 D</i>	29/02	H

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

制御回路Cにより、第1のリレーR1がオン状態(閉状態)に設定されると、オルタネータAからの給電により第1のバッテリB1が充電され、オフ状態(開状態)に設定されると、第1のバッテリB1は、オルタネータA及び電装補器類L1～Lnから切り離され、第1のスタータモータM1を起動させ得る状態となる。また、同様に、第2のリレーR2がオン状態(閉状態)に設定されると、オルタネータAからの給電により第2のバッテリB2が充電され、オフ状態に設定されると、第2のバッテリB2は、オルタネータA及び電装補器類L1～Lnから切り離され、第2のスタータモータM2を起動させ得る状態となる。更に、制御回路Cは、必要に応じて、第1及び第2のリレーR1及びR2をオン状態に設定し、第1及び第2のバッテリB1及びB2の両方から、第1のスタータモータM1へ給電し該第1のスタータモータM1を起動させる、若しくは、第2のスタータモータM2へ給電し該第2のスタータモータM2を起動させるような制御を行なうことも可能である。